



平成 29 年 9 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社バロックジャパンリミテッド
 代表者名 代表取締役社長 村井 博之
 (コード番号: 3548 東証第一部)
 問合わせ先 最高執行責任者 池内 秀樹
 TEL 03-5738-5775

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 3 月 15 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 1 月期通期業績予想数値の修正 (平成 29 年 2 月 1 日から平成 30 年 1 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 76,208	百万円 6,312	百万円 6,645	百万円 4,479	円 銭 126.17
今回修正予想 (B)	68,842	3,478	3,674	2,208	61.14
増減額 (B-A)	△7,366	△2,834	△2,971	△2,270	
増減率 (%) (B対A)	△9.7	△44.9	△44.7	△50.7	
(参考) 前期実績 (C) (平成 29 年 1 月期)	69,493	5,368	5,385	3,507	108.37

2. 修正の理由

上期の国内事業におきましては、都心部への出店強化、商品開発力の強化による商品の差別化、収益性の改善を目的としたサプライチェーンマネジメント改革(仕入原価率の低減、物流費の適正化等)に継続的に取り組んでまいりました。その結果、主力ブランドの MOUSSY および百貨店業態の中軸ブランドである ENFÖLD の業績は順調に推移しましたが、国内売上高の 5 割超を占めるショッピングセンター(SC)業態において、商品戦略や価格戦略上の課題から既存店売上が前年割れとなりました。また EC(電子商取引)プラットフォームの更新に係る一過性のシステムトラブルの影響等により、EC 事業も前年比、僅かに減収となりました。

下期にはポイント会員サービス「SHEL'TTER PASSPORT」の新規導入、SC 業態におけるストアビジネスモデルの再構築（「店舗リノベーション」×「ヴィジュアルマーチャンダイジング（VMD）の強化」×「真にお客様のニーズに応える商品づくり」）、EC 事業の販売促進の強化、全社的な販管費の抑制により、国内事業売上高、営業利益は、前年比、増収増益を見込んでおりますが、上期業績の影響により、通期では減収減益となる見込みであります。

一方、海外事業については、中国事業が順調な出店を背景に通期の当初予想を上回る利益貢献を見込んでおります。

このように、下期においては国内事業の業績回復や海外事業の利益貢献を見込むものの、上期業績のマイナスを補完できないことから、平成 29 年 3 月 15 日発表の連結通期業績予想値を修正いたします。

なお、年間配当予想については、一株当たり 38 円のまま据え置いております。これは、当期純利益の下振れ要因が主に上期の業績によるものであり、今後の業績回復を見通しているためであります。

（注）上記業績予想については、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上